

追浜駅前図書館に関する考え方（方向性）

横須賀再興プラン 2022-2025

追浜駅前図書館の整備

- ▼ 再開発に伴い、北図書館は民間企業の手も借りて、地域のにぎわいを生み出す図書館として整備
- ▼ 北図書館を追浜駅前の再開発ビルに移転し、再開発事業者をはじめとする民間事業者と連携し、地域全体の価値を向上させる図書館を目指して整備

追浜駅前図書館に求められるもの — 目指す姿 —

- 「新しいまち 追浜」を感じられる図書館
- 地域が「誇り」とする図書館（「シビックプライド」の醸成）
- 追浜の「ブランド力向上」「まちづくり」に資する図書館

方向性

- 追浜駅前図書館 = 「新しい公共空間」の創造
 - ・テーマやコンセプトを明確に持った図書館（既存図書館と異なる役割）
- 立地が高まることによる「新たな利用者」を取り込む図書館

テーマ

新たな価値の創造

- ・追浜（まち や エリア）の価値の創造
- ・図書館や図書という役割が生み出す、利用者にとっての価値の創造

貸出し重視型の図書館 から 滞在型の図書館へ

- ・「空間の機能性」とともに、利用者の「居心地」を重視
- ・デザイン性も含めた居心地の良さの追求
- ・手に取ってみたい という「興味」や「探求心」をくすぐる配架の工夫

図書館における新しい公共施設の在り方

- ・誰もが 図書館という文化的資本に繋がることができる場所（心理的ハードルを下げる）
- ・誰もが 情報への平等なアクセスが得られる場所
- ・誰もが「ライフデザイン」を描ける場所（「ひと」や「暮らし」に寄添う）

“誰もが 創造性を発揮できる 未来への出発地”

方策として

- ・目的やコンセプトを見据えた選書（“貸し出しは行わない図書館”の選択肢も）
- ・質の高い空間デザインの取入れ（書架配置、インテリア、家具、サイン、照明など）
- ・ICTの活用、DXの推進
- ・商業施設（下層階）との連携
- ・次世代型のICT教育施設との連携
- ・運営（DBO）を見据えた民官連携